

大手コンビニと連携してコンビニと農産物直売所を一体運営

遠州中央農協(静岡県)

取組の概要

- 新たにコンビニを誘致し、食品スーパー、直売所、コンビニの一体型店舗をオープン。全ての買い物の支払いを一つのレジで行うことができ、利便性があがった。
- コンビニが扱う魅力的な商品や店内に広いイートインスペースが設けられたことなどにより、客数が増加し、農産物の売上の増加につながった。

事業化(プロジェクト化)成功のポイント

1 食品スーパー、農産物直売所、コンビニの一体型店舗による収益の改善

- ① 遠州中央農協100%出資子会社の(株)ジェイエイ遠中サービスは、食品スーパーと農産物直売所の一体型店舗を運営していたが、近年、売上、客数ともに減少し、収益改善が求められていた。このため、新たにコンビニを誘致し、食品スーパー、直売所、コンビニの一体型店舗を平成28年4月にオープンした。
- ② これまでの食品スーパーや新鮮な野菜が並ぶ農産物直売コーナーの機能に加え、コンビニが提供する様々な商品やATMなどのサービスが24時間利用可能となるとともに、全ての買い物の支払いを一つのレジで行うことができ、利便性があがった。
- ③ ドリップコーヒー、弁当、パン、スイーツ、たばこなどコンビニが扱う魅力的な商品や店内に広いイートインスペースが設けられたことなどにより、気軽に立ち寄る客が増えたことなどから客数が増加し、農産物の売上の増加につながった。

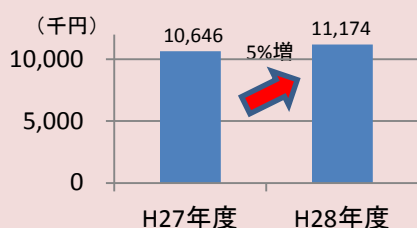
2 組合員に対する丁寧な説明

コンビニとの一体型店舗については、これまで農産物直売所に出荷していた組合員からは、客層が変わることにより売上が減少するかもしれないなどの意見が出たが、話し合いの場を設けて、丁寧に説明することにより理解を求めた。現在では、コンビニの一体型店舗にしたことにより農産物の売上が増加したことから、組合員から喜びの声が上がっている。

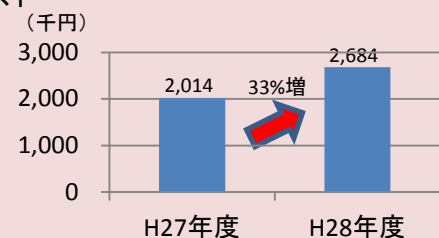
農協のメリット・農家のメリット

<農産物販売金額(4月~1月)>

○とうもろこし



○トマト



<1日平均来店客数>

